



2010年1月14日

各位

東京都渋谷区恵比寿一丁目30番1号
株式会社プロバスト
代表取締役社長 津江 真行
(コード番号: 3236)
問い合わせ先 経営企画部長 矢野 義晃
電話 03-6853-3100

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2010年5月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想について、2009年10月14日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました2010年5月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせ致します。

1. 2010年5月期 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期連結累計期間(2009年6月1日～2009年11月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	37,600	△2,400	△3,400	△3,000	△8,647.40
今回修正(B)	22,964	△33,370	△34,293	△34,177	△98,516.67
増減額(B-A)	△14,636	△30,970	△30,893	△31,177	—
増減率(%)	△38.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2009年5月期第2四半期)	39,539	△10,242	△12,203	△18,003	△51,894.17

(2) 修正理由

2010年5月期第2四半期連結累計期間の売上高については、前回予想比38.9%減となる22,964百万円を見込んでおります。主な要因は、外部環境の悪化による価格調整圧力が強かったことに加え、売却が思うように進展しなかったことから、資産活性化事業の売上高が前回予想29,000百万円から16,486百万円へ減額したことによるものです。また、不動産開発事業においても不動産市況低迷の影響を受けて、売却が計画通り進まなかったことにより、売上高は前回予想8,000百万円から6,180百万円へ減額となりました。

損益面では、第2四半期においても金融機関等との協議により売却を推進する中で、不動産市況の低迷により売却価格の低下を余儀なくされ、収益率の悪化が生じました。また、物件売却を進める中で、その売却価格が当初想定していた価格を大きく下回る水準であった事実を踏まえ、たな卸資産の評価額を見直さざるを得ない状況となりました。こうした状況を受けて、当社が保有する個々のプロジェクトについて再度見直しを行い、たな卸資産の評価損を売上原価に26,588百万円追加計上いたしました。この結果、2010年5月期第2四半期連結累計期間の営業利益は前回予想比30,970百万円減少し、△33,370百万円となります。上記の要因等にご注意：

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

より、経常利益は前回予想比 30,893 百万円減少し、△34,293 百万円となります。また、四半期純利益は前回予想比 31,177 百万円減少し、△34,177 百万円となります。

(3) 通期 (2009 年 6 月 1 日～2010 年 5 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	58,100	300	△1,600	△1,200	△3,458.96
今回修正 (B)	31,400	△33,400	△35,200	△34,200	△98,580.38
増減額 (B-A)	△26,700	△33,700	△33,600	△33,000	—
増減率 (%)	△46.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2009 年 5 月期)	85,563	△16,026	△20,006	△26,596	△76,664.44

(4) 修正理由

2010 年 5 月期通期連結会計年度の売上高については、前回予想比 46.0%減少し、31,400 百万円となる見込みです。主な要因は、外部環境の悪化による価格調整圧力が強いことを背景に売却予定価格を見直したことを受けて、資産活性化事業の売上高を前回予想の 42,900 百万円から 24,000 百万円へ減額したことによるものです。不動産開発事業については、低迷する不動産市況の長期化により今後も物件の引渡しが計画通りに進まない可能性が高いことから、売上高は前回予想の 11,400 百万円から 7,000 百万円へ減額となる見込みです。賃貸その他事業については、不動産市況を勘案した結果、当面は不動産企画業務の売上計上が期待できず、事業主の地位の譲渡等を実施した物件の販売代理業務の売上しか見込めないことから、売上高を前回予想の 3,800 百万円から 400 百万円へ減額いたしました。

損益面では、(2) 第 2 四半期連結累計期間の修正理由に加えて、第 4 四半期に見込んでいた不動産企画業務の収益を業績予想から外したことにより、2010 年 5 月期連結会計年度の営業利益は前回予想比 33,700 百万円減少し、△33,400 百万円となる見込みです。上記の要因等により、経常利益は前回予想比 33,600 百万円減少し、△35,200 百万円となります。また、当期純利益は前回予想比 33,000 百万円減少し、△34,200 百万円となります。

以 上

ご注意： 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。